

| 教科・科目 | 対象学年 | 単位数 | 教科書 | 使用教材 |
|--|--|--|-----------|----------|
| 芸術・書道 I | 普通科1年 | 2 | 書 I (大修館) | 五體字類(字書) |
| 科目の概要と目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書学習により、基本的な用筆法などの技術を身につける。 ・書の伝統と文化についての理解を深め、鑑賞する能力と、主体的に自己表現する創造性を養う。 | | | |
| 単元 | 学習内容 | 到達度目標 | | |
| 楷書の古典 ・『孔子廟堂碑』 ・『九成宮醴泉銘』 ・『雁塔聖教序』 ・『願氏家廟碑』 ・『造像記』 篆刻 | <ul style="list-style-type: none"> ・古典を鑑賞し、その印象を発表する。 ・各古典の臨書学習で、基本的な点画や用筆法・運筆法を学ぶ。 ・プリントで各古典の時代背景を理解する。 ・自分で選択した熟語を、これまでに臨書したいいずれかの古典の書風で創作する。 ・自分の名前を字書で調べ、表現したい書体を選び、石に刻す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の違いを理解する。 ・各古典の用筆法・運筆法・字形の取り方を観察し、違いを理解し表現することができる。 ・各古典の特徴を把握し、創作作品を仕上げることができる。 ・創作作品について鑑賞し、意見を述べる。 ・用具、用材の使い方を理解する。 ・篆刻の手順を理解し、オリジナルの印を制作する。 | | |
| 行書の古典 ・『蘭亭序』 ・『風信帖』 漢字仮名交じりの書 | <ul style="list-style-type: none"> ・行書の字形の取り方。点画の省略・変化・筆脈・墨量等を実際に臨書し学ぶ。 ・『蘭亭序』…それぞれ担当の文字を臨書し軸に貼り合同作品にする。 ・今まで学習した古典の特徴を参考に漢字と仮名の調和を図り作品をつくる。 ・完成した作品を発表し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行書の鑑賞により、多様な表現を理解する。 ・運筆のリズムと抑揚を観察し、単調でない筆遣いができる。 ・『蘭亭序』の全体感・特徴が理解できる。 ・古典の用筆法を応用し、詩や言葉に合った自分の思いが表現できる作品を目指す。 ・完成した作品の制作意図や工夫した点を述べ、人の作品について感想を書く。 | | |
| 仮名の古典 ・『いろは歌』 ・連綿 ・『高野切第三種』 ・『寸松庵色紙』 生活の中の書 | <ul style="list-style-type: none"> ・プリントで変体仮名を理解する。 ・単体・連綿・変体仮名の練習。 ・『高野切第三種』の臨書により連綿の変化と運筆のリズムをつかむ。 ・『寸松庵色紙』の独特の散らし方を学ぶ。 ・葉書・手紙の書き方や、葉書の返信の決まりを学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文字の歴史の中で仮名が完成するまでを理解する。 ・仮名の古典を鑑賞し、多様な表現を理解する。 ・仮名の単体・連綿・変体仮名の用筆法を理解する。 ・葉書・手紙のルールを知る。 | | |